



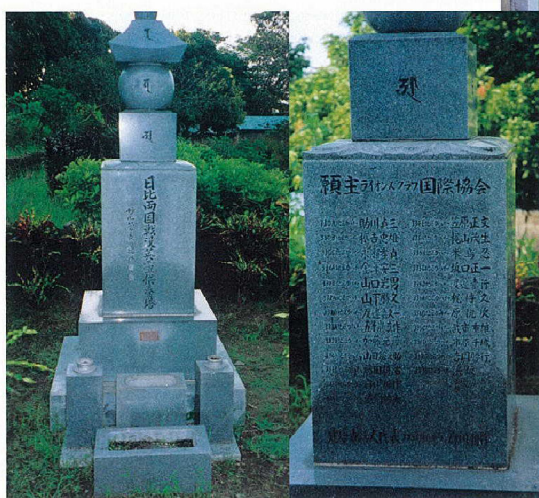
フィリピン マニラモラベLC訪問奉仕活動



台風被害者にお粥の炊き出し



マザーテレサ修道院 両クラブ寄贈品持参



日比両国戦没英霊供養塔 LC国際協会メンバー建立
建立メンバー名('76～・330-A・ガバナーL助川貞三)



あずま男と下町娘



Manila Molave Lions Club
33rd Anniversary and 34th Induction Ceremony
October 25, 2008 Fortune Seafood Restaurant

モラベLCと豊東LCの記念写真



フィリピン共和国 マニラモラベライオンズクラブと 姉妹提携15周年に思う

マニラモラベLCと東京墨東LCが提携して早15年になります。私がここでマニラモラベLCの思いを若干申し述べてみます。

フィリピンは300年以上にわたりスペインが植民地支配し、アメリカも太平洋戦争迄、42年間支配し、その間3年間にわたって日本が軍事占領と言う暗く、辛い過去をもち苦難の生活であったでしょう。

私たち日本人も戦争と言う美名で数々の理不尽な行為で悲しい思いもさせてきました。こんな私たち日本人に対し実に温かく迎え入れ古くから友人いや、親友として受け入れてくれております。いまだに、中国、韓国等は日の丸の旗は持ち歩けませんし、日の丸は焼かれるかもしれません。

マニラ市内の平和公園の中に「日比両国戦没英霊供養塔」が建っております。(裏面写真)この碑は元ガバナーの有志が建立したものです。330-A地区ガバナー・助川貞三Lが刻まれております。

助川貞三ガバナーは'76~'77のガバナーである事を知り、東京墨東LCがその前年1975年3月2日にチャーターナイト举行的事にフィリピンに不思議な糸を感じますし姉妹提携のマニラモラベLCは1976年が設立だ何っており益々身近に感じました。

このフィリピン共和国マニラライオンズクラブがスポンサーとなり、初めて日本国に、そして東京ライオンズクラブが設立された事を肝に命じ、スポンサーの名を汚さぬ様に、我々が益々 WeServeに邁進しなければと強い思いを致しました。

東京墨東ライオンズクラブ

CN35周年実行委員長 L新田 和 勇

2010.3.2



マニラモラベLC・CNで佐々木会長歓迎手作りポスター



フィリピンモラベLC チャーターナイト風景(両国の国旗掲揚)



佐々木会長の挨拶